

## 津警察署協議会議事録

令和7年度第3回津警察署協議会	
日 時 場 所	令和7年11月26日（水）午前9時30分～午前10時20分 津警察署1階会議室
出席者	<p>1 警察署協議会 10名 上出善子委員、大川将寿委員、小黒敏克委員、 加瀬由美子委員、関井英志委員、竹尾久美子委員、 野田恵子委員、降旗道男委員、前田重憲委員、 若林佐知子委員</p> <p>2 警察署 13名 署長、副署長、会計課長、事件指導官、警務課長、 留置管理課長、生活安全課長、地域課長、刑事第一課長、 刑事第二課長、交通第一課長、交通第二課長、警備課長</p>
傍聴者数	なし
公開・非公開の別	公開

### 議 事 概 要

1 警察署長挨拶
2 警察署協議会会長挨拶
3 管内治安情勢（各課長）
(1) 犯罪情勢
(2) 交通事故発生状況
4 協議内容
(1) 熊に対する警察の対応について
<委員> 津市内で熊が出没したという話も聞くが、熊を目撃した際の警察の対応について教えていただきたい。
【署長】 警察が熊の目撃情報を入手したときは、即時に県や市に情報共有を行い、連携して対応する。警察は、目撃情報の広報や住民の避難誘導、登山者に対する注意喚起等の初動活動を行う。
(2) SNS型ロマンス詐欺の発生状況について
<委員> ロマンス詐欺の発生件数が増加しているにもかかわらず、検挙がない。効果的な方策はないのか。
【刑事第二課長】 SNS型ロマンス詐欺は、暗号資産を送金されるケースが多く、暗号資産の追跡の困難さから、被疑者検挙が極めて難しい犯罪である。ロマンス詐欺発生件数は増加しているが、被害未然防止の情報も多く寄せられており、警察による広報啓発活動は、無駄ではないと考えている。新たな手口の広報等、これまで以上に広報啓発活動を推進することでロマンス詐欺の発生を防ぎたい。
(3) 交通事故発生件数における過去との比較について
<委員> 安全運転サポート機能付きの車両が増えているのに、交通事故件数が減らないのはどうしてか。

【交通第一課長】 いわゆる「サポカー」なる先進技術は、交通事故防止に寄与するが、根本的な事故防止ではない。また、サポート機能が、全ての車両に普及しているわけではない。事故防止に最も大切なのはドライバーの交通安全意識である。地道に継続して、可能な対策を講じていく。

5 警察署長謝辞

備 考	報道機関 1 社 1 名
-----	--------------